

教育職員免許法施行規則(第二十二條の六)に基づく情報の公表について

◎ 教員養成に関する情報について、公表が義務付けられる内容(×6点)

1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関する事	1
2	教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事	2
3	教員の養成に関する授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関する事	6
4	卒業者の教員免許状の取得の状況に関する事	12
5	卒業者の教員への就職の状況に関する事	12
6	教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関する事	13

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科における教員養成に関する理念と目的		
教育福祉学部子ども学科は、人間としての子どもの発達と生活を保障し、支援することを目的として、教育学、保育学、福祉学、心理学などの学問分野における協働的、統合的な理論と実践のあり方に関する教育、研究を行うことをその理念としている。このため、本学科における教員養成においても、この理念を踏まえ、子どもの健全な心身の成長・発達を促す教育的な支援に加えて、その基盤ともいえる子どもの人権に根差した生活を保障する福祉的な支援に関わる専門的な知識、技法をもった教員を養成することを目的としている。		
教員養成の目的（子ども）	小学校一種	小学校教育における専門的な知識と技能、教育指導力に加え、子どもの健全な発達と生活を保障する福祉的な支援に関する資質と力量を備えた小学校教員を養成することを目的とする。
	幼稚園一種	生命の尊重、発達の保障、人権の尊重、共生を基盤として、教育現場、地域社会のニーズに対応でき、また、子どもたちの生きる力の育成とそれに寄り添える専門的な力量と実践力を備えた幼稚園教員を養成することを目的とする。
	養護一種	養護教員に必要な教育実践力、つまり、保健管理力、健康教育力、コーディネート力、マネジメント力を高度に、かつバランスよく身につけた養護教員を養成することを目的とする。

びわこ学院大学教育福祉学部スポーツ教育学科における教員養成に関する理念と目的		
教育福祉学部スポーツ教育学科は、スポーツ教育に関わる広範な知識・技術を教授研究し、今日教育現場で生じている様々な事象への対応や保護者との有効なコミュニケーションの形成、教育への情熱と倫理観を持ち、困難に立ち向かう心身ともにたくましい人材の養成を目的としている。あわせて、スポーツ教育学を基盤として、障害児に対する専門的知識を持った保健体育科教員や特別支援学校教員を養成することを目指している。		
教員養成の目的（スポーツ教育学科）	中学校一種（保健体育）	運動の楽しさや喜びを理解させるとともに、身体運動の実践を通して生徒個人の豊かな人間形成に寄与し、さまざまな場面で優れた問題解決能力を発揮できる教員の養成。
	高等学校一種（保健体育）	スポーツ教育の特性や価値について理解を深め、高度な専門的知識に裏付けられた実践的な指導方法を身に付け、ライフスタイルをより豊かにするスポーツ教育のできる教員の養成。
	特別支援学校教諭（知・肢・病）	子どもの可能性を最大限に伸ばすことを目指し、インクルーシブ教育システムの基、専門的な知識と実践のできる教員の養成。障害のある子どもへの教育にとどまらず、互いに支えあう共生社会をめざす教員の養成。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事

教員組織・指導体制

幼稚園・小・中学校・高等学校・特別支援学校に関する専門的事項	養育・教育に関する専門的事項	学部・学科等		免許状の種類	教職専任教員数	
		教育福祉学部	子ども学科	小一種免 幼一種免 養護一種免	6人 4人 3人	
保育内容の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等	各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等	小学校の教職課程	教職専任教員	スポーツ教育学科	中一種免(保健体育) 高一種免(保健体育)	4人 4人
				南 雅則 教授	教育心理学 発達心理学 教育相談の基礎	中学・高校の教職課程
				深田 直宏 教授	教科教育法体育 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	教職入門 教育学概論 道德教育の指導法 教職実践演習(中・高)
				和田 充弘 准教授	教職入門 道德教育の指導法 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	
				渡辺 雅幸 准教授	子ども教育学概論 教育行政・制度論 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	計 2 人 兼担 1 人
				計	4 人	
				兼担	1 人	
				南 雅則 教授	教育心理学 発達心理学 教育相談の基礎	特別支援教育に関する科目
				川副 知佐 講師	保育指導法総論 幼児理解論 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	
				和田 充弘 准教授	教職入門 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	教職専任教員
				渡辺 雅幸 准教授	子ども教育学概論 教育行政・制度論 初等教育実習(事前・事後指導を含む)	
				計	4 人	計 3 人 兼担 —
				兼担	4 人	
				南 雅則 教授	教育心理学 教育相談の基礎	教職課程組織体制 → P3へ
				和田 充弘 准教授	教職入門 道德教育の指導法	
				渡辺 雅幸 准教授	子ども教育学概論 教育行政・制度論	各教員が有する学位及び業績 (https://www.biwakogakuin.ac.jp/faculty)
				計	3 人	
				兼担	2 人	各教員が担当する授業科目 → P4～5へ
				兼担	2 人	

教職課程の実施・指導体制(全学組織等)

①委員会等の名称	
教職課程委員会	
②委員会等の構成員	
委員長	渡辺 雅幸（教育福祉学部 子ども学科准教授）
委員	箱家 勝規（教育福祉学部 子ども学科教授－教育福祉学部学部長）
委員	内藤 紀代子（教育福祉学部 子ども学科教授）
委員	川副 知佐（教育福祉学部 子ども学科講師）
委員	高木 俊（教育福祉学部 スポーツ教育学科准教授－スポーツ教育学科学科長）
委員	久保田 裕斗（教育福祉学部 スポーツ教育学科助教）
委員	大西 宏樹（事務職委員 教務部 教務課）
合計人数：	7人 事務局（教務課）
③委員会の所掌事務等	
○	委員会においては、教職課程（並びに保育士養成）のカリキュラム立案に関する事項を審議している。
○	委員会の傘下に実習連絡会議を置き、具体的なカリキュラム、学生のきめ細かな個別指導等について、対応している。
○	教育実習（保育実習）の実施にあたっては、「実習・実践支援委員会(事務局：実習・実践支援課)」が中心となって、対応している。

令和7（2025）年度 びわこ学院大学教員名簿 （敬称略）

所属 区分	職名	氏名	担当科目
	学長 教授	沖田 行司	【スポーツ教育学科】 教育学概論

【子ども学科】

専任	学部長	箱家 勝規	子ども学基礎演習Ⅱ	自然科学入門*	特別活動の指導法*
	学科長		生徒・進路指導論*	生徒指導論(養護)	教科教育法 理科
教授	岩崎 信子		生命と科学*	総合的な学習の時間の指導法*	初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)
			子ども学総合演習	子ども学卒業研究	学級経営論
教授	奥田 愛子		子ども学基礎演習Ⅱ	学校保健論	養護概説Ⅰ 養護概説Ⅱ
			健康相談論	養護実習(事前・事後指導を含む)	看護臨床実習
教授	片山 弘紀		子ども学総合演習	子ども学卒業研究	教職実践演習(養護)
			【スポーツ教育学科】	学校保健論	
教授	鳥野 猛		子ども学基礎演習Ⅰ	子ども学総論	子どもと運動 幼児と健康
			保育内容指導法健康	保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ(保育所)	初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む) 保育実習指導Ⅱ・実習Ⅱ
教授	新屋 久幸		子ども学総合演習	子ども学卒業研究	保育実践演習
			【スポーツ教育学科】	バレーボールA	バレーボールB
教授	内藤 紀代子		子ども学基礎演習Ⅱ	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ 教育福祉学*
			社会福祉援助技術演習	保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ(施設)	介護等体験(事前・事後指導を含む)
教授	中井 清津子		子ども学総合演習	子ども学卒業研究	保育実習指導Ⅲ・実習Ⅲ
			子ども学基礎演習Ⅱ	日本国憲法*	子ども学総論 社会科学入門
教授	パン ジュイン		現代社会と福祉Ⅰ	現代社会と福祉Ⅱ	社会保障論 危機管理教育論
			くらしと防災	保育実習指導Ⅰ・実習Ⅰ(施設)	子ども学総合演習
教授	深田 直宏		医学概論(予防医学を含む)	衛生学・公衆衛生学*	解剖生理学
			【スポーツ教育学科】	救急処置法	
教授	南 雅則		子ども学基礎演習Ⅰ	基礎看護学	看護技術演習Ⅰ 看護技術演習Ⅱ
			精神保健学	養護実習(事前・事後指導を含む)	看護臨床実習指導 看護臨床実習
教授	渡辺 雅幸		子ども学総合演習	子ども学卒業研究	教職実践演習(養護)
			【スポーツ教育学科】	救急処置法	健康教育・管理学
准教授	和田 充弘		子ども学基礎演習Ⅱ	幼児と環境	保育原理総論
			保育内容指導法環境	子ども学総合演習	子ども学卒業研究
准教授	渡辺 雅幸		保育実習Ⅰ(保育所)	初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	保育実習Ⅱ
			子ども学基礎演習Ⅱ	近江の地域学*	国際文化論*
准教授	渡辺 雅幸		コミュニケーション中国語Ⅰ*	コミュニケーション中国語Ⅱ*	社会科学入門
			保育実習Ⅰ(施設)	保育実習Ⅲ	子ども学総合演習
准教授	渡辺 雅幸		子ども学総合演習	子ども学卒業研究	子ども学卒業研究
			子ども学基礎演習Ⅰ	野外活動B*	子どもと運動 教科教育法 体育
准教授	渡辺 雅幸		初等教育実習Ⅰ・Ⅱ(事前・事後指導を含む)	実技能力育成(体育)	子ども学総合演習
			介護等体験(事前事後指導含む)	子ども学卒業研究	教職実践演習(初等)
准教授	渡辺 雅幸		【スポーツ教育学科】	中等教科教育法 保健体育Ⅰ	中等教科教育法 保健体育Ⅱ 中等教科教育法 保健体育Ⅲ
			子ども学基礎演習Ⅰ	教育心理学	子どもの心理
准教授	渡辺 雅幸		発達心理学	精神保健学	社会調査論*
			教育相談の基礎*	子ども学総合演習	子ども学卒業研究
准教授	渡辺 雅幸		子ども学基礎演習Ⅰ	スタディ・スキルズⅠ	スタディ・スキルズⅡ 近江の地域学*
			教職入門*	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ 道徳教育の指導法*
准教授	渡辺 雅幸		初等教育実習Ⅰ・Ⅱ(事前・事後指導を含む)	子ども学総合演習	子ども学卒業研究
			【スポーツ教育学科】	教育学概論	中等教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(中・高)
准教授	渡辺 雅幸		子ども学基礎演習Ⅱ	スタディ・スキルズⅠ	スタディ・スキルズⅡ 子ども学総論
			子ども教育学概論	教科教育法 社会	初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)
准教授	渡辺 雅幸		教育行政・制度論*	子ども学総合演習	子ども学卒業研究
					教職実践演習(初等)

所属 区分	職名	氏名	担当科目
専任	講師	川副 知佐	子ども学基礎演習Ⅱ 幼児理解論 保育指導法総論 保育計画論 保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ(保育所) 初等教育実習Ⅰ・Ⅱ(事前・事後指導を含む) 保育実習Ⅱ 子ども学総合演習 子ども学卒業研究 教職実践演習(初等) 保育実践演習
		林 育子	子ども学基礎演習Ⅰ 子どもと音楽Ⅰ 子どもと音楽Ⅱ 子どもと音楽Ⅲ 子どもと音楽Ⅳ 幼児と音楽表現 保育内容指導法表現Ⅰ 保育内容指導法表現Ⅱ 保育実習Ⅰ(保育所) 初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む) 保育実習指導Ⅱ・実習Ⅱ 子ども学総合演習 子ども学卒業研究
		和田 健一	子ども学基礎演習Ⅰ 幼児と造形表現 子どもと図画工作Ⅰ 教科教育法 図画工作 保育内容指導法表現Ⅰ 保育内容指導法表現Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・保育実習Ⅰ(保育所) 初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む) 保育実習指導Ⅱ・実習Ⅱ 教職実践演習(初等) 子ども学総合演習 子ども学卒業研究 子どもと図画工作Ⅱ

* は、スポーツ教育学科と共通開講科目

【スポーツ教育学科】

専任	教授	藤澤 和子	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ スタディ・スキルズ 特別支援教育総論* キャリアデザインⅠ 知的障害者の心理 言語療法* 教育ボランティア* 発達障害と教育課程 特別支援教育実習(事前・事後指導を含む)
		吉見 譲	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 健康・運動の科学* 水泳・水中運動 プロジェクト科目(特別支援)* スポーツ情報処理Ⅰ スポーツ情報処理Ⅱ スポーツトレーニング論 スポーツコーチング論 スポーツボランティア論 総合演習 卒業研究 野外活動A*
	学科長 准教授	高木 俊	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 健康・運動の科学* スポーツ生理学 スポーツ生理学Ⅱ スポーツ医学概論A スポーツ医学概論B スポーツ栄養学 スポーツバイオメカニクス フィットネスプログラミング リハビリテーション論Ⅰ リハビリテーション論Ⅱ 総合演習 卒業研究 スポーツ科学入門Ⅰ 【子ども学科】 救急医学論
			スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 教育福祉学* インクルーシブ教育と社会* キャリアデザインⅡ 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)* 教育課程総論* 知的障害者教育課程論 肢体不自由者教育課程論 発達障害と教育課程 総合演習 卒業研究 特別支援教育実習(事前・事後指導を含む) プロジェクト科目(特別支援)*
	講師	小野寺 恵介	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 体育実技* スポーツ教育学 野外活動A* 中等教科教育法 保健体育Ⅳ バスケットボールA バスケットボールB 地域スポーツ計画論 教育ボランティア* 総合演習 卒業研究 中等教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(中・高)
		竹内 早耶香	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 健康・運動の科学* 体育実技* スタディ・スキルズ メンタルトレーニング論 スポーツ心理学 スポーツ文化論 地域スポーツ実践論 ダンス ダンスA ダンスB 総合演習 卒業研究 野外活動A* 野外活動B* スポーツ科学入門Ⅱ
	助教	久保田 裕斗	スポーツ教育学基礎演習Ⅰ・Ⅱ インクルーシブ教育と社会* キャリアデザインⅡ 総合演習 特別支援教育論 プロジェクト科目(特別支援)* 介護等体験(事前事後指導含む) 卒業研究 特別支援教育実習(事前・事後指導を含む) スタディ・スキルズⅡ スポーツ科学入門Ⅱ 【子ども学科】 特別支援保育論 障害児保育演習

* は、子ども学科と共通開講科目

3. 教員の養成に関する授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

教育福祉学部 子ども学科 小学校教諭一種免許課程（2022～2025年度入学生）

免許法施行規則に規定する科目名				単位数	本学開設授業科目	単位数	履修方法	備考
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	30	子どもと読み書き	2	必修	
			社会		社会科学入門	2		
			算数		子どもと数	2	必修	
			理科		生命と科学	2		
			生活		物理学入門	2		
			音楽		自然科学入門	2		
					子どもと音楽Ⅰ	1	必修	
					子どもと音楽Ⅱ	1	必修	
					子どもと音楽Ⅲ	1		
					子どもと音楽Ⅳ	1		
			図画工作		子どもと図画工作Ⅰ	2	必修	
					子どもと図画工作Ⅱ	2		
			家庭		生活科学入門	2		
			体育		家族社会学	2		
			外国語		子どもと運動	2	必修	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語		教科教育法 国語	2	必修	
			社会		教科教育法 社会	2	必修	
			算数		教科教育法 算数	2	必修	
			理科		教科教育法 理科	2	必修	
			生活		教科教育法 生活	2	必修	
			音楽		教科教育法 音楽	2	必修	
			図画工作		教科教育法 図画工作	2	必修	
			家庭		教科教育法 家庭	2	必修	
			体育		教科教育法 体育	2	必修	
			外国語		教科教育法 英語	2	必修	
							48	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	子ども教育学概論	2	必修		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教職入門	2	必修	共	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育行政・制度論	2	必修	共	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		学級経営論	2			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育心理学	2	必修	共	
				発達心理学	2	必修	共	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		10	特別支援教育総論	2	必修	共
		総合的な学習の時間の指導法			教育課程総論	2	必修	共
		特別活動の指導法			道徳教育の指導法	2	必修	共
		教育の方法及び技術			総合的な学習の時間の指導法	2	必修	共
第五欄	教育実践に関する科目	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	5	特別活動の指導法	2	必修	共	
		生徒指導の理論及び方法		教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	2	必修	共	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	必修	共	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談の基礎	2	必修	共	
		教育実習		初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	5	必修		
		学校体験活動		初等教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	3			
教職実践演習								
				2	教職実践演習(初等)	2	必修	
				27		38		
第六欄	大学が独自に設定する科目			2	人権教育	2	必修	共
				2		2		

※ 備考欄 共 は全学共通開設科目

履修上の注意

- ① 教員免許取得のためには、上記授業科目の他に、「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション中国語Ⅰ」「コミュニケーションポルトガル語Ⅰ」から2単位、「日本国憲法」「健康・運動の科学」「体育実技」「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の単位修得及び7日間の介護等体験が必要。
- ② 幼稚園教諭一種免許状と併せて取得しようとするものは、「初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)」に加えて、「初等教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)」を履修してください。

教育福祉学部 子ども学科 幼稚園教諭一種免許課程（2025年度入学生）

免許法施行規則に規定する科目名				単位数	本学開設授業科目	単位数	履修方法	備考
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康		幼児と健康	1	必修	
			人間関係		幼児と人間関係	1	必修	
			環境		幼児と環境	1	必修	
			言葉		幼児と言葉	1	必修	
			表現		幼児と身体表現	2	必修	
					幼児と造形表現	1	必修	
					幼児と音楽表現	1	必修	
					保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育指導法総論	2	必修
		保育内容指導法健康	2	必修				
		保育内容指導法人間関係	2	必修				
		保育内容指導法環境	2	必修				
		保育内容指導法言葉	2	必修				
		保育内容指導法表現Ⅰ	2	必修				
						16		22

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	子ども教育学概論	2	必修	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	必修	共
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政・制度論	2	必修	共
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	必修	共
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		発達心理学	2	必修	共
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育総論	2	必修	共
		教育課程総論		2	必修	共	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	2	必修	共
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解論	2	必修	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談の基礎	2	必修	共
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	5	必修	
		初等教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)		3			
		学校体験活動					
		教職実践演習	2	教職実践演習(初等)	2	必修	
				21		30	

第六欄	大学が独自に設定する科目	※	14	人権教育	2	必修	共
				子どもと音楽Ⅰ	1	必修	
				子どもと音楽Ⅱ	1	必修	
				子どもと音楽Ⅲ	1	必修	
				子どもと図画工作Ⅰ	2	必修	
				14		7	

※ 備考欄 共 は全学共通開設科目

履修上の注意

- ① 教員免許取得のためには、上記授業科目の他に、「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション中国語Ⅰ」「コミュニケーションポルトガル語Ⅰ」から2単位、「日本国憲法」「健康・運動の科学」「体育実技」「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の単位修得が必要。
 - ② 小学校教諭一種免許状と併せて取得しようとするものは、「初等教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)」に加えて、「初等教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)」を履修してください。
- ※ 「人権教育」「子どもと音楽Ⅰ」「子どもと音楽Ⅱ」「子どもと音楽Ⅲ」「子どもと図画工作Ⅰ」および最低修得単位数を超えて修得した第二欄、第三欄、第四欄、第五欄の単位から、併せて14単位以上修得。

教育福祉学部 子ども学科 養護教諭一種免許課程（2022～2025年度入学生）

免許法施行規則に規定する科目名			単位数	本学開設授業科目	単位数	履修方法	備考
第二欄	養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学(予防医学を含む。)	4	医学概論(予防医学を含む)	2	必修	
		学校保健	2	衛生学・公衆衛生学	2	必修	
		養護概説	2	学校保健論	2	必修	
		健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	養護概説Ⅰ	2	必修	
		栄養学(食品学を含む。)	2	養護概説Ⅱ	2	必修	
		解剖学・生理学	2	健康相談論	2	必修	
		「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	食育論(食品学を含む)	2	必修	
		精神保健	2	解剖生理学	2	必修	
		看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10	微生物学	2	必修	
				免疫・薬理学	2	必修	
				精神保健学	2	必修	
				基礎看護学	4	必修	
				看護技術演習Ⅰ	1	必修	
				看護技術演習Ⅱ	2	必修	
			2	救急医学論	2	必修	
				看護臨床実習指導	1	必修	
				看護臨床実習	2	必修	
			28		34		

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	子ども教育学概論	2	必修	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	必修	共
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政・制度論	2	必修	共
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	必修	共
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論	2	必修	共
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	2	必修	共
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の指導法	2	必修	共
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		総合的な学習の時間の指導法	2	必修	共
		生徒指導の理論及び方法		特別活動の指導法	2	必修	共
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	2	必修	共
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		生徒指導論(養護)	2	必修	
第五欄	教育実践に関する科目	養護実習	5	教育相談の基礎	2	必修	共
		学校体験活動					
		教職実践演習		2	養護実習(事前事後指導を含む)	5	必修
			21	教職実践演習(養護)	2	必修	
					31		

第六欄	大学が独自に設定する科目	7	人権教育	2	必修	共
※		7		2		

※ 備考欄 共 は全学共通開設科目

履修上の注意

① 教員免許取得のためには、上記授業科目の他に、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション中国語Ⅰ」、「コミュニケーションポルトガル語Ⅰ」から2単位、「日本国憲法」「健康・運動の科学」「体育実技」「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の単位修得が必要。

※ 「人権教育」および最低修得単位数を超えて修得した第二欄、第三欄、第四欄、第五欄の単位から、併せて7単位以上修得。

※ 備考欄 共 は全学共通開設科目

履修上の注意

① 教員免許取得のためには、上記授業科目の他に、「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション中国語Ⅰ」、「コミュニケーションポルトガル語Ⅰ」から2単位、「日本国憲法」「健康・運動の科学」「体育実技」「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の単位修得及び7日間の介護等体験が必要。

※ 「人権教育」および最低修得単位数を超えて修得した第二欄、第三欄、第四欄、第五欄、第六欄の単位から、併せて4単位以上修得。

※ 備考欄 共 は全学共通開設科目

履修上の注意

- ※「人権教育」および最低修得単位数を超えて修得した第二欄、第三欄、第四欄、第五欄、第六欄の単位から、併せて12単位以上修得。

教育福祉学部 スポーツ教育学科 特別支援学校教諭一種免許課程（2025年度入学生）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における授業科目名			
科 目		単位数	授業科目	単位数	中心となる領域	履修方法
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育論	2		必修
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害者の心理・生理・病理	2	C 知的障害者	必修
			知的障害アセスメント論	2	C 知的障害者	必修
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2	D 肢体不自由者	必修
			病弱者の心理・生理・病理	2	E 病弱者	必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害者教育課程論	2	C 知的障害者	必修
			特別支援教育指導法	2	C 知的障害者	必修
			肢体不自由者教育課程論	2	D 肢体不自由者	必修
			病弱者教育課程論	2	E 病弱者	必修
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	視覚障害者の心理・生理・病理	1	A 視覚障害者	必修
			聴覚障害者の心理・生理・病理	1	B 聴覚障害者	必修
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		視覚障害者教育課程論	1	A 視覚障害者	必修
			聴覚障害者教育課程論	1	B 聴覚障害者	必修
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目		発達障害の理解と支援	2	重複・LD等領域	必修
			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	重複障害者教育総論	1	重複・LD等領域
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	特別支援教育実習(事前・事後指導を含む)	3		必修
最低修得単位数		26		28		

※特別支援教育領域ごとの設定単位数（2025年度入学生）

○視覚障害者に関する教育の領域 [A]:

2単位/8単位（心理等:1単位/1単位、教育課程等:1単位/2単位、心理・教育課程等:0単位）

○聴覚障害者に関する教育の領域 [B]:

2単位/8単位（心理等:1単位/1単位、教育課程等:1単位/2単位、心理・教育課程等:0単位）

○知的障害者に関する教育の領域 [C]:

6単位/4単位（心理等:4単位/1単位、教育課程等:2単位/2単位、心理・教育課程等:0単位）

○肢体不自由者に関する教育の領域 [D]:

6単位/4単位（心理等:4単位/1単位、教育課程等:2単位/2単位、心理・教育課程等:0単位）

○病弱者に関する教育の領域 [E]:

6単位/4単位（心理等:4単位/1単位、教育課程等:2単位/2単位、心理・教育課程等:0単位）

【注意】

※1 特別支援学校教諭一種免許状で教育できる領域は、知的障害者・肢体不自由者・病弱者の3領域です。
視覚障害者・聴覚障害者に関する教育領域は設置していません。

※2 特別支援学校教諭免許状を取得するには、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、いずれかの校種の
教員免許を持っていることが基礎資格（前提条件）になります。

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること

学部・学科名 教育福祉学部子ども学科
入学定員 80名

	卒業 者	小一 種 免 (2009)	幼一 種 免 (2009)	養護一 種 免 (2009)	高一種免 (福祉) (2011)	特支一種免 (知・肢・病) 他学科	教員就職 者数	[参考] 保育士 資格
2025(令和7)年3月卒	89	25	40	12		4	28	40
2024(令和6)年3月卒	91	27	36	12		6	23	33
2023(令和5)年3月卒	76	27	25	11		7	25	24
2022(令和4)年3月卒	58	18	19	6		5	18	22
2021(令和3)年3月卒	66	14	28	13		1	17	27
2020(令和2)年3月卒	59	17	25	11		5	23	24
2019(令和元)年9月卒	1						0	0
2019(平成31)年3月卒	63	15	30	8		4	28	31
2018(平成30)年3月卒	66	20	39	11		3	29	29
2017(平成29)年3月卒	88	25	50	11	1		34	45
2016(平成28)年3月卒	58	17	37	15	1		21	32
2015(平成27)年3月卒	62	21	36	7	1		16	32
2014(平成26)年9月卒	1						0	0
2014(平成26)年3月卒	52	19	34	11			15	29
2013(平成25)年9月卒	1		1				0	1
2013(平成25)年3月卒	45	17	24	8			15	21
計	876	262	424	136	3	35	292	390

学部・学科名 教育福祉学部スポーツ教育学科
入学定員 40名

	卒業 者	中一 種 免 (保健体育) (2014)	高一種免 (保健体育) (2014)	特支一種免 (知・肢・病) (2014)	教員就職 者数
2025(令和7)年3月卒	21	5	5	0	2
2024(令和6)年3月卒	29	3	3	1	2
2023(令和5)年3月卒	29	7	7	1	1
2022(令和4)年9月卒	1			0	0
2022(令和4)年3月卒	22	4	4	3	1
2021(令和3)年3月卒	40	0	0	0	0
2020(令和2)年3月卒	24	0	0	0	0
2019(令和元)年9月卒	1			0	0
2019(平成31)年3月卒	21	5	5	2	3
2018(平成30)年3月卒	16	4	4	3	2
計	204	28	28	10	11

()は認定年度

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

教員養成の質的向上のために、特に以下の点での取り組みを進めています。

- 1 教職課程委員会を設け会議を定期的(月例)に開催することにより、教職課程の維持、改善について不断の点検を実施している。
- 2 免許課程ごとに実習連絡会議を設け、実習巡回による指導、実習の事前事後指導や教育課程の点検を行っている。きめ細やかな指導を行うため、実習連絡会議には柔軟な人員配置を行っている。
- 3 課程ごとに実習参加要件を設けるとともに、学生の安易な実習参加を回避するため、担当教員との面談を課すことにより、学生の教職に対する明確な意思の確認を行っている。
- 4 課程ごとに作成したカリキュラムマップに基づき科目担当教員が自身の担当する科目の位置づけや他科目との繋がりを確認するための研修会を実施、教員は科目の特性に沿ったシラバスを構築することとしている。
- 5 卒業生を含む現職の教員や福祉施設職員等を招き、各現場で求められている教員や福祉の質について学生が指導を受ける機会を設けている。
- 6 福祉の心を持った教育者の養成…子どもの健全な心身の成長・発達を促す教育的な支援に加えて、その基盤ともいえる子どもの人権に根差した生活を保障する福祉的な支援に関わる専門的な知識、技法を獲得すること。
- 7 手厚い実習指導体制…教職を目指す学生に対する「教育実習指導(3年)」に対する教員配置を手厚くし、教員－学生が互いに顔の見える指導を実現。